

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2020.3) 令和元年度:14-15.

40歳代の高齢初産の母乳率に影響を与える要因を20歳代と比較して

澤田 侑希, 竹内 美紀, 亀卦川 真由美, 染木 玲乃, 小野寺
舞

40歳代の高齢初産の母乳率に影響を与える要因を20歳代と比較して

旭川医科大学病院 周産母子センター
4階東ナースステーション
澤田侑希 竹内美紀 亀卦川真由美
染木玲乃 小野寺舞



目的

- 40歳代初産婦と20歳代初産婦を比較し、母乳率へ影響を与える要因を分析する。

方法

- 研究対象: A病院で過去3年間に正産期で母子同室をした初産婦150名(20歳代126名、40歳代24名)。
- データ収集方法: 看護記録や哺乳表から情報収集を行った。
- 調査内容: データを40歳代と20歳代で比較・分析した。また、母乳と混合の2群間で差がある項目を40歳代と20歳代でそれぞれ抽出した。
- データ分析方法: χ^2 検定とフィッシャーの正確確率検定、t検定を用いて有意水準5%で分析した。

倫理的配慮

- 倫理的配慮: 旭川医科大学倫理委員会の承認を得て実施した(承認番号18274)。本研究で得られた研究対象者の情報等は、本研究目的以外に使用しない。

結果(データ①)

	全例例(n)	20歳代	40歳代	p値
母体年齢(歳)	150	126	24	
分娩様式				
帝王切開	35(20)	23(18.3)	12(50)	0.002※※
経産分娩	115(80)	103(81.7)	12(50)	
妊娠週数(週)	39.2±1.1	39.1±1.1	39.2±1.2	0.79※
出生量(g)	3434±441.9	3574±372.7	3648±649.6	0.003※
帝王切開	892.1±403.4	1185.5±771.1	0.18※	
経産分娩	531.5±113.4	586.1±261.6	0.58※	
出生体重(g)	3207.7±379.2	2994.4±372.4	3201.3±359.0	0.01※
帝王切開	2955.8±450.1	3296±352.4	0.001※	
経産分娩	3025.5±347.0	3108.6±346.0	0.44※	
最低体重(g)	2742.9±344.6	2715.8±343.9	2881.7±326.8	0.63※
体重減少率(%)	9.4±2.8	9.3±2.7	9.8±3.1	0.29※
退院時体重(g)	2872.7±359.4	2849.0±357.4	2996.7±344.2	0.06※
退院時BMI	20.9±3.4	20.3±3.2	23.9±5.3	0.002※
妊娠期間体重増加(kg)	11.0±4.9	11.1±4.2	10.2±4.7	0.31※
子宮頸腫あり	6(4)	1(0.7)	5(20.8)	0.0003※※
なし	144(96)	125(99.2)	19(79.1)	
貧血(Hb未満)	5(3.3)	2(1.5)	3(12.5)	0.02※※
(Hb8以上)	145(96.6)	124(98.4)	21(87.5)	
GDM合併あり	17(11.3)	12(9.5)	5(20.8)	0.10※※
なし	133(88.6)	114(90.4)	19(79.1)	

※t検定、※※ χ^2 検定、フィッシャー正確確率検定

結果(データ②)

	全例例(n)	20歳代	40歳代	p値
母乳哺育率				
母乳栄養	107(71.3)	97(77.0)	10(41.7)	0.008※※
混合・人工栄養	43(28.7)	29(23.0)	14(58.3)	
乳餅集積あり	10(6.6)	10(7.9)	0	0.36※※
なし	140(93.3)	116(92.0)	24(100)	
母乳量あり	32(21.3)	29(23.0)	3(12.5)	0.46※※
なし	118(78.6)	97(76.9)	21(87.5)	
夜間預かりあり	100(70.6)	85(67.4)	15(62.5)	0.03※※
なし	44(29.3)	41(32.5)	3(12.5)	
糖水追加あり	31(20.6)	22(17.4)	9(37.5)	0.05※※
なし	119(79.3)	104(82.5)	15(62.5)	
搾乳追加あり	61(40.6)	50(39.6)	11(45.8)	0.82※※
なし	89(59.3)	76(60.3)	13(54.1)	
母乳学級あり	64(42.6)	53(42.0)	11(45.8)	0.11※※
なし	86(57.3)	73(57.9)	13(54.1)	
妊娠期間通産作あり	114(76)	99(78.5)	15(62.5)	0.11※※
なし	36(24)	27(21.4)	9(37.5)	
乳餅治療あり	38(25.3)	31(24.6)	7(29.1)	0.79※※
なし	112(74.6)	95(75.3)	17(70.8)	

※t検定、※※ χ^2 検定、フィッシャー正確確率検定

結果

20歳代 データ①

	母乳栄養	混合・人工栄養	p値
分娩様式	72(56.3)	11(37.1)	0.909※※
帝王切開	33(26.2)	18(58.1)	
経産分娩	47(37.1)	23(74.2)	0.002※
妊娠週数	39.2±1.1	39.1±1.1	0.79※
出生量	3574±372.7	3648±649.6	0.003※
帝王切開	892.1±403.4	1185.5±771.1	0.18※
経産分娩	531.5±113.4	586.1±261.6	0.58※
出生体重	3207.7±379.2	2994.4±372.4	0.01※
帝王切開	2955.8±450.1	3296±352.4	0.001※
経産分娩	3025.5±347.0	3108.6±346.0	0.44※
最低体重	2742.9±344.6	2715.8±343.9	0.63※
体重減少率	9.4±2.8	9.3±2.7	0.29※
退院時体重	2872.7±359.4	2849.0±357.4	0.06※
退院時BMI	20.9±3.4	20.3±3.2	0.002※
妊娠期間体重増加	11.0±4.9	11.1±4.2	0.31※
子宮頸腫あり	6(4)	1(0.7)	0.0003※※
なし	144(96)	125(99.2)	19(79.1)
貧血(Hb未満)	5(3.3)	2(1.5)	0.02※※
(Hb8以上)	145(96.6)	124(98.4)	21(87.5)
GDM合併あり	17(11.3)	12(9.5)	0.20※
なし	133(88.6)	114(90.4)	19(79.1)

※t検定、※※ χ^2 検定、フィッシャー正確確率検定

データ②

	母乳栄養	混合・人工栄養	p値
母乳量あり	21(16.6)	11(37.1)	0.001※※
なし	79(72.4)	13(44.8)	
夜間預かりあり	59(54.8)	27(88.2)	0.0009※※
なし	39(35.2)	4(13.8)	
糖水追加あり	8(7.5)	23(79.3)	0.000004※※
なし	64(58.8)	8(27.7)	
搾乳追加あり	33(34.0)	23(79.3)	0.0001※※
なし	64(58.8)	8(27.7)	
乳餅治療あり	19(17.8)	12(44.8)	0.0008※※
なし	79(72.4)	11(37.1)	

※t検定、※※ χ^2 検定、フィッシャー正確確率検定

考察

【20歳代と40歳代の比較】

- 差が生じた理由は加齢に伴う身体的変化や帝王切開率の増加によるものと考えられる。
- 40歳代の夜間預かりが多い理由として、40歳代は貧血の割合が高く、それに付随して分娩の疲労が回復しにくいと考えられる。

【20歳代と40歳代のデータと母乳率の分析】

- 20歳代で有意差があった項目は40歳代では有意差がなかった。母乳分泌促進のために行っているケアは20歳代には効果が見られても、40歳代には20歳代ほど効果がない可能性が示唆された。

結論

- 40歳代の中でも年齢があがるにつれて母乳率は更に低下していくことが明らかとなったため、年齢と母乳率には関連があると示唆された。しかし、本研究は40歳代が24例と限られた症例であること、多変量解析をしていないことから、得られた結果には限界がある。
- 本研究では看護の方向性まで至らなかったが、母乳率に影響を与える要因が20歳代と40歳代で違うことから、40歳代への母乳育児支援は対象の背景を理解した独自のアプローチが必要であり、今後の課題と考える。